

令和6年度 公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会事業計画

I 事業運営方針

コロナ禍を乗り越え、まちがにぎわいと活気を取り戻しつつある中、観光においてはクルーズ船の寄港増加や国際線の順次再開により、インバウンド需要の回復が急速に進むなど明るい動きが見られる一方で、人手不足などが課題となっております。

このような中、令和6年度、当協会は観光地域づくりを担う「登録DMO」としてスタートする予定であり、事業運営におきましては、DMO経営企画会議やワーキンググループといった推進体制の下、DMO戦略に基づき、地域全体のマーケティング・マネジメントを推進し、データを活用したプロモーションの展開や体験型観光メニューの充実など効果的な諸施策を実施するとともに、大阪・関西万博や西郷隆盛生誕200年・没後150年を見据えた事業にも取り組んでまいります。

さらに、MICE誘致戦略プランに基づき、ステークホルダー等と連携しながら国内外での誘致活動や商談会への出展を実施し、鹿児島開催の促進に取り組んでまいります。

また、市民や事業者へ観光の意義やDMOについて広く周知するほか、経営基盤の強化やデジタル化にも取り組み、運営基盤の確立に努めます。

【公益目的事業】

DMO関連

「観光客誘致事業」では、宿泊データ及び検索行動データの収集分析や、観光CRMアプリを活用したデータ収集分析の強化など、地域マネジメント・マーケティングに取り組むほか、データを活用した国内外からの誘客に繋がるプロモーションを展開するとともに、鹿児島市と連携し、新たに西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクト実行委員会を開催するなど、鹿児島ファン拡大に向けたプロモーションを推進します。

「観光客受入事業」では、インバウンド誘客に向け体験型観光メニューの魅力向上や販売力強化の支援等に取り組むほか、地消地産等の促進による地域経済循環の向上や旅アトの消費機会の創出など、観光による波及効果の拡大を図るとともに、接遇研修会等を通じて観光関係者のホスピタリティを高めるなど受入体制の充実を図ってまいります。

「コンベンション誘致支援事業」では、「Japan MICE EXPO2024」をはじめとするMICE商談会への出展や台湾における誘致セールス、また、新たにプログラムモニターツアーやオンラインによる鹿児島MICEセミナーを実施するほか、MICE開催における支援・サポートを行うなど、産官学の連携により鹿児島でのMICE開催を促進してまいります。

「運営基盤の確立」では、新たにDMO事業報告会・セミナーを開催し、観光の意義・効果やDMOの役割等の理解促進を図るとともに、安定的な財源確保に向けた行動計画の策定や人事評価制度の導入を行うほか、面的なデータ連携などDXの推進により、観光分野のデジタル化を推進してまいります。

DMO関連以外

「施設の管理運営等」では、「維新ふるさと館」において、創作歴史芝居等のイベントや各種歴史講座等を開催するなど、観光客等の利用促進を図ってまいります。また、鹿児島中央駅や天文館、桜島など市内要所5か所にある観光案内所を運営し、観光客等の利便性向上を図るほか、ボランティアガイドと巡るぶらりまち歩きを実施し、ガイドならではの目線で観光名所を案内してまいります。

【法人会計】

「その他事業」では、引き続き理事会、評議員会、専門委員会等の開催や、関係団体との連携により円滑な事業運営を図ってまいります。

II 事業計画の概要

【公益目的事業】

DMO関連 ※令和5年12月に登録DMO申請済（令和6年3月末に審査結果通知予定）

1 観光客誘致事業

1-1 稼ぐ体制・仕組づくり

(1) 地域マネジメントの体制構築

- ①多様な関係者と連携した推進体制の構築
 - ・DMO経営企画会議の開催
DMO戦略の推進、経営（行政との役割分担、会計等）の協議など
 - ・ワーキンググループの開催
施策及び実施手法の検討など
- ②関係者が実施する観光関連事業と戦略等の整合性に関する調整
 - ・マーケティングデータ（マンスリーレポート）の配信【拡充】
 - ・観光CRMアプリ加盟店へのデータに基づく支援
- ③行政（観光庁・県・市）や他のDMO等との連携
 - ・観光庁、九州観光機構との新規事業に関する情報交換
 - ・県観光連盟が運営する「かごしまの旅」との情報掲載連携
 - ・九州主要都市観光協会連絡協議会での情報交換
 - ・鹿児島県10市観光協会情報交換会の開催
 - ・先進地視察等市場調査

(2) 地域マーケティングの仕組づくり

- ①統計データ・観光客データの収集、分析、共有
 - ・宿泊データ及び検索行動データの収集分析【拡充】
 - ・鹿児島市観光消費額調査の実施
- ②観光CRMアプリ等によるニーズ把握、分析、共有
 - ・観光CRMアプリ推進事業【拡充】
 - 観光CRMアプリを活用した地域マーケティングに取り組む。
 - ア 利用促進キャンペーン等の実施、加盟店支援
 - イ データ収集分析の強化 など
 - ・かごしま市観光ナビの運用

(3) 持続可能な観光地づくり

- ①SDGsに資する観光地づくりの取組推進
 - ・サステナブルツーリズムの促進

1-2 誘客促進

(1) 戦略的なプロモーションの展開

- ①データを活用した国内外からの誘客に繋がるプロモーションの展開
 - ・SNSの運用
 - ・メディアプロモーション事業
WEBを中心に各種メディアを活用した観光プロモーションに取り組む。
 - ・海外プロモーション推進事業<インバウンド関連>
インバウンド誘客に向け、個人旅行者向けのプロモーションを実施する。

②鹿児島ファン拡大に向けたプロモーションの推進

- ・西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクト実行委員会の開催【新規】
- ・都市間まつり交流（大垣市）
- ・かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会をフックとした誘客
- ・サッカー鹿児島デーの開催
- ・かごしま親善大使の運営

(2) 観光クルーズ船の誘致・受入<インバウンド関連>

①県・市・関係団体等と連携した観光クルーズ船の誘致・受入

- ・鹿児島海外観光客受入協議会でのクルーズ客船受入、観光案内の充実

2 観光客受入事業

2-1 魅力あるコンテンツ開発

(1) キャッシュポイント（商品）づくり、高付加価値化・差別化

①多様な関係者による観光商品・サービスづくり、高付加価値化・差別化

- ・甲突川リバーサイドフェスの実施
- ・協会オリジナルグッズの作成

②体験型観光メニューの充実等

- ・インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化事業<インバウンド関連>
インバウンド誘客に向け、体験型観光メニューの魅力向上や販売力強化の支援等に取り組む。
- ・旅先で感じた俳句短歌川柳の投稿

2-2 受入体制の充実

(1) 国内外の観光客の受入・案内機能の充実

①多言語化などインバウンド対応の充実<インバウンド関連>

- ・市と連携したインバウンド向け飲食店等受入体制強化事業の推進

②観光案内機能の充実

- ・観光ガイドマップの制作
- ・接遇研修会の開催（インバウンド対応含む）
- ・おはら祭での観光案内
- ・鹿児島マラソンでの観光案内
- ・電光掲示板の運営管理

③受入環境整備に関する地域の取組の調整・支援

- ・2次交通の利便性向上に向けた調整

④災害など非常時における観光客への情報発信

- ・かごしま市観光ナビの運用（再掲）

2-3 観光による波及効果の拡大（広義の観光）

(1) 地域経済循環の向上

①地消地産の促進

- ・観光関連事業者等に対する地消地産の促進
- ・地消地産の促進に取り組む事業者の情報発信

- ②マイクロツーリズムの促進
 - ・観光CRMアプリ推進事業（再掲）
- (2) 旅アトの消費機会の創出
 - ①旅アトの観光客への情報発信
 - ・観光CRMアプリ推進事業（再掲）

3 コンベンション誘致支援事業

3-1 MICE誘致

(1) MICE誘致事業

- ①重点分野のターゲット設定による戦略的な誘致活動の展開
 - 大都市圏等大会事務局（東京・名古屋・大阪・広島・福岡）及び地元大会事務局（鹿児島大学を中心）へのセールス
 - ・国内誘致活動
 - 対象：県内外の学会事務局などMICE主催者・旅行会社・PCO
 - ・国内MICE商談会出展【拡充】
 - ア ツーリズムEXPO（東京）
 - イ 日本観光ショーケース（大阪）
 - ウ Japan MICE EXPO 2024（大阪）
（大阪・関西万博に向けて開催）
 - ・海外誘致活動
 - JNTO主催インセンティブ商談会（韓国・台湾）出展に合わせたエージェントセールス
 - ・国際MICE商談会出展
 - ア IIME（東京）
 - イ VJTM (Visit Japan Travel & MICE Mart)（東京）
 - ・7都市情報交換会・懇談会及びJCCB事業への参加
 - コンベンション主催者との7都市懇談会におけるセールス
 - ・コンベンション推進団体との連携
 - ア 九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会
 - イ 5都市会議（盛岡市・金沢市・駿河市・高松市・鹿児島市）
 - ・MICE開催予定調査及びイベント・コンベンションカレンダーの作成
 - コンベンションカレンダーの作成・月刊イベントコンベンション情報作成及び賛助会員へのメール配信

(2) MICE受入

- ①地域資源のMICE活用促進による来訪者消費単価の向上
 - ・テーマ別座談会の開催
 - ・プログラムモニターツアーの実施【新規】
 - ・おもてなしサービス券の作成
- ②社会変動等に対応できる強靱なMICE基盤の構築
 - ・MICE開催補助金
 - インセンティブツアーに対し、誘致強化のため、補助体系を見直す。
 - ・MICE開催助成金
 - ・メディア活用による情報発信【新規】
 - ・オンライン鹿児島MICEセミナーの実施【新規】

- ③機動力と柔軟性のある推進体制の整備
 - ・産官学連携プロジェクト【新規】

4 運営基盤の確立

4-1 基盤強化プロジェクト

(1) 観光の意義・効果、DMOの役割等の理解促進

①観光の意義・効果、DMOの役割等の啓発

- ・DMO事業報告会・セミナーの開催【新規】

市民・事業者へ観光の意義・効果やDMOの役割・取組等について啓発するため、DMO事業報告会・セミナーを開催する。

- ・「鹿児島県の観光とコンベンション推進の集い」の開催
- ・観光の意義・効果等の理解促進を図る機関紙の発行
- ・学生等に観光に関する実務経験を提供し、将来の観光人材を育成

(2) DMOの経営基盤の強化

①安定的な財源確保

- ・安定的な財源確保に向けた行動計画の策定【新規】

DMO戦略の取組に必要な財源確保に向け、行動計画を策定する。

②求められる職員像の整理や人事評価制度の導入によるDMOの人材育成

- ・人事評価制度の導入【新規】

職員の能力や資質の向上を図るため、人事評価制度を導入する。

(3) 観光分野のデジタル化の推進

①横断的なデジタル化の推進

- ・観光関連事業者等と連携した面的DXの推進【新規】

- ・鹿児島県ぶらりまち歩きにおけるOTAの活用【拡充】

OTA（オンライン旅行代理店）を活用し、鹿児島県ぶらりまち歩きの参加促進に取り組む。

- ・かごしま市観光ナビの運用（再掲）
- ・観光CRMアプリ推進事業（再掲）※デジタルキュートの販売
- ・インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化事業（再掲）

DMO関連以外

5 施設の管理運営等

(1) 維新ふるさと館管理運営事業（鹿児島市から受託）

- ①維新ふるさと館の管理
 - ・管理運営
- ②利用促進イベント・各種歴史講座等の開催
開館30周年記念と位置付けて開催する。
 - ・創作歴史芝居（維新演劇シアター）
 - ・折り紙あそび等体験会
 - ・歴史シンポジウム
 - ・西郷隆盛を偲ぶ書道展
 - ・歴史解説員による史跡めぐり
 - ・館内ギャラリーガイド
 - ・観光ボランティアガイドとのコラボ事業

(2) 観光案内所管理運営事業（鹿児島市から受託）

- 市内5か所の観光案内所において観光案内及び観光情報の提供、乗車券等の販売を行い、観光客等の利便性の向上を図る。
- ・鹿児島中央駅総合観光案内所
 - ・鹿児島中央駅東口駅前広場観光案内所
 - ・観光交流センター
 - ・鹿児島市観光案内所（天文館）
 - ・桜島観光案内所

(3) 観光ボランティアガイドの活用（鹿児島まち歩き観光ステーション）

- ・鹿児島ぶらりまち歩き事業
- ・定点ガイドの活用
- ・鹿児島ぶらりまち歩きにおけるOTAの活用（再掲）

【法人会計】

6 その他事業

理事会、評議員会、専門委員会等を開催し、事業展開に反映させるとともに、関係団体と連携を図り、円滑な事業運営を行う。